



学校創立143周年

百年松

阿木名小中学校便り 令和4年11月18日発行

◇校訓「かしこく やさしく たくましく」
あ
ぎ
な
明るく元気なあいさつができる子ども
ぎりぎりまであきらめず努力する子ども
仲よく笑顔いっぱいの子ども
～花いっぱい、元気いっぱい、笑顔あふれる阿木名っ子～



阿木名小中学校

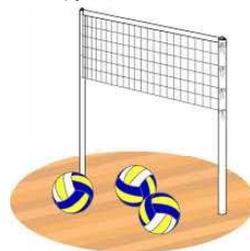
好きも嫌いもない

校長 井上 泉



「どれだけ好きな仕事」をして、「どれだけ、やむを得ない仕事」をするか。好きな仕事だと思っても、実はさまざまな仕事をしなければなりません。例えば、美容師の仕事。お客さんの髪をカットしたりセットしたりするだけではありません。仕事に使うタオルを洗濯し干してたたんだり、カットした髪などの掃除、お客さんとのやりとり、電話対応、お店の清掃やはさみなどの消毒、お金の管理などなど。数え上げたらきりがなほどの仕事があります。好きな仕事をするといっても、その中には必ず好きでもない仕事や、苦手な仕事があるものです。だから仕事をするということは、実は好きも嫌いもないのと同じなのです。ただその根本に、やりたいことがあるのか、ないのかだけなのです。やりたいことがある人は仕事で成功し、やりたいことがない人はうまくいかない。ただそれだけのこと・・・。」参考：心に心棒より

この仕事のところを「勉強・部活動・少年団活動・学級・学校」に置き換えて考えてみましょう。例えばバレーボール。パスや練習試合だけしても強くなれないし、上達もしません。基本のパスやフォーメーションはもちろん、準備運動で体をほぐすことがけがを防ぐ。体力づくりが長時間の試合でも疲れない体力の基になり、衰えない動きにつながる。低い姿勢を保つ練習がレシーブの向上につながる。柔軟やストレッチが動きの幅を広げる。ダッシュや瞬発を高める練習がアタック、レシーブにつながる、などなど。



また運動だけではなく、コート整備や準備・後始末、シューズの手入れやユニフォームの洗濯、ボールの管理など、体を動かす以外にもチームワークを高めるものや思いやりの気持ち、感謝の気持ちを育てるなど、数え上げたらきりがなほど数多くあります。そしてその中には決して楽しくないものや、しんどい動きもあります。楽しいものばかりしていても、体力・技術の向上にはつながりませんし、協力する心は育たないでしょう。

勉強ではテストでよい点数を取ることだけではありません。漢字や英単語を書く、文章を書く、暗記する、計算する、何かを作る・創造する、試してみる、初めてのものもある、幾度となく挑戦するものもある。それぞれがやがて、私たちの生き方そのものに、大きな力となって蓄えられていくのです。考えたり暗記したりしたことで脳に刺激が与えられるし、ものを作ったり作品を仕上げることで想像力が豊かになる。幾度となく挑戦することで、たくましい心が育つ。経験や試行錯誤したことが、何かを生み出すもとになる。そしてそれらが好きなことをするために必要な土台となるのです。点数のためだけではないのです。全てが好きなことをするために必要なことです。しなければならないことなのです。そう思って勉強、学級の仕事、学校での役割、家族での役割を、責任をもって積極的に行動してほしいと願います。そうすることで、それぞれの成長に大きく役立つことを知ってください。

私たち大人も、仕事の楽しさとあわせて困難なことがあることを、話していく必要があると感じます。子どもたちが少しずつでもそれができるようになると、阿木名校も大きく成長すると思います。